第３期岩見沢市社会教育推進計画（案）に対する
意見公募（パブリックコメント）の結果と市の考え方について

◆意見の募集結果

募集期間	令和７年２月１４日から令和７年２月２５日まで
提出者数	４人
提出件数	４件

◆意見の反映状況

区分		件数
A	意見を受けて反映するもの	1
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	1
C	案の変更はないが、今後の参考等とするもの	2
D	案に反映しないもの	
E	その他の意見	
合計		4

◆寄せられたご意見と市の考え方

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
1	岩見沢市のホームページでは、南空知の市町と定住自立圏を形成し、将来にわたって誰もが安心して暮らし続けられる地域の形成と定住を図る取組みを検討していると掲載されています。 その骨子の一部には、社会教育・生涯学習のカテゴリにある「生涯学習機会の充実と文化・スポーツの振興」の分野には、学習講座やスポーツ活動といった取組みが掲載されており、今後、人やモノやお金が減少しても近隣の市町村との連携で、サービス水準を維持・向上していくことが求められると思います。 このビジョンと同じ計画期間でもある社会教育推進計画（案）では、広域的な取組みに関する視点が伺えなく、今後、人口減少はもとより、少子化・高齢化が一層進行していくため、施設や人材、各事業においても各市町村と補完し合うことが重要なので、「広域的に連携した取組みを進めていく」視点を盛り込み、双方の計画との整合を図る必要があると思います。	いただいた意見を踏まえ、２ページ目に、「また、著しい人口減少と高齢化に伴う様々な課題に対応し、持続可能な学習活動機会を確保してくため、適切な相互補完と役割分担による広域的な連携による取組みが重要となります。」を追記します。 15 ページ施策の方向(2)の具体的な施策に、「図書館連携による図書の相互貸出」を追記します。	A
2	P９ こどもの豊かな人間性を育む学習活動の推進 具体的な施策に「ＳＮＳ等の犯罪被害、ネットトラブル防止のための啓発事業」とありますが、これは本当に必要なことだと思います。インターネットは便利でとても身近なものですが、トラブルが起きた場合は大きな問題となりかねません。こどもたちを守るためには、まず大人が知識を持っていなければいけないと強く感じます。	ＳＮＳ等の犯罪被害、ネットトラブル防止のためには、保護者（大人）への啓発が重要と考えております。今後も、情報リテラシー向上に関する取組を進めてまいります。	B

3	P10　主体的な学びへの学習活動の推進について 　課題の一つに「市民大学の現役世代層の参加が少ない」とありますが、働いている人が講義開始の 18 時 30 分までに会場に行くのはなかなか厳しいと思います。(市内在住で市外勤務の人ならなおさら) 　開始時間がもう少し遅ければ、仕事が終わってから参加してみようという人が増えると思います。	各種講座の実施方法として、現役世代を主な対象とする場合は講義開始時間を変更するなど、今後の参考にさせていただきます。	C
4	P13　スポーツ育成者を育成するための各種研修会・講習会等の開催について 　現在地方の少年団やスポーツクラブでは指導者の高齢化が進んでいます。 　そのためこれからは、若い指導者の育成が地方でのスポーツ活動を守っていくうえで大切になると想います。 　若い指導者とは勤労者世代がメインになるため、仕事との両立等の問題があり、簡単に解決できる問題ではありませんが、ぜひ支援を続けていただきたいと思います。	指導者の高齢化や指導者に求められている役割が変化していることから、指導者を対象とした研修会や講習会の開催は重要なことと考えております。今後も取組を進めてまいります。	C